



川崎

中学生の汗と指導員の汗が光る卓球大会

川崎市中原区青少年指導員連絡協議会 宮前 尚子

中原区の青少年指導員の活動はたくさんありますが、特に夏の全中原中学生卓球大会と、秋の中原区青少年吹奏楽コンサートは、毎年、青少年指導員と中原区役所の事務局が中心になって行なっている活動です。

今年の8月4日も川崎市高津スポーツセンターにて第54回全中原中学生卓球大会が開催されました。毎年各中学校から沢山の選手たちが、エントリーして試合に臨みます。朝早くから、体育館の中にシートを敷いたり、21台の卓球台を出してセッティングをしたり、沢山の氷を用意しての水分補給の準備などに追われます。トーナメント式で男女に分かれて試合が行われ、毎年白熱した試合になり、それぞれの卓球台の周りでは応援の音が威勢良く飛び交います。試合が準決勝、決勝と進んでいくと、周りの生徒や指導員たちの注目は、中央の卓球台に集まります。結果に涙を見せる生徒もいれば、周りの歓声と共に満面の笑みを見せる生徒もいます。

自分の力を発揮して試合に臨んでいる生徒たちの目は輝いていて素晴らしいと、毎年思います。目を輝かせている生徒たちの活躍の場を提供できる事を誇りに思い、

生徒たちから私たちが力をもらっています。そして、中学生だけでなく、得意分野が違っていても全ての子どもたちが目を輝かしていて欲しいと思います。中原区の子どもたちが、この地で育って良かったと思える街づくりを目指し、青少年指導員活動を行っていきたいと思います。



卓球大会準備に汗する指導員たち

動 報 告



関西

新たな試みにチャレンジ!

中井町青少年指導員連絡協議会 会長 今永 好信

中井町の青少年指導員は現在26名で活動しており、各種主催事業及び町事業への協力等に団結して取り組んでいます。

小さい町で子どもが少ないからこそ、活動の中で子どもたち一人ひとりと近い距離で接することができ、地域の身近な存在になれていると感じています。

毎年6月に指導員の研修を実施しており、活動に役立つ内容に取り組んでいます。令和元年度は新たな試みと



研修の成果はいかに

して、所属の指導員にバルーンアートの講師となっただき、「バルーンアート講習」を実施しました。簡単そうにみえて実際に作ってみると難しく、初めは席に座りながら講習を受けていましたが、夢中になるにつれて徐々に席から立ち上がり、指導員同士で教えあいながらバルーンアートを作成しました。

早速成果を発揮する場として、毎年小学6年生を対象にした山形県戸沢村と中井町の子どもたちとの交流事業の際に、指導員によるレクリエーションとして、バルーンアートを実施しました。子どもたちは初めてやる人が多く初めは戸惑いもあるようでしたが、指導員が子どもたち一人ひとりと近い距離で教えることで、少しずつ笑顔が見えてきました。最終的には、それぞれ個性のあるバルーンアートが完成し、子どもたちは大満足していました。

指導員にとっても、研修の成果が発揮でき、今後の活動に生かせる研修だったと感じています。今後も子どもたち一人ひとりと近い距離で接し、より地域の身近な存在になれたらと思います。